

「木の町」蘇生プロジェクト



令和6年度広葉樹材利活用/林業成長産業化推進関連事業費 1,600万円

南会津町は、総面積（約886km²）のうち90%以上を森林が占めています。

昭和30年代には優良広葉樹材の生産地として年間の素材生産量が約32万m³、林業従事者も6,000人以上いましたが、近年（平成27年）では、素材生産量は約3万m³、林業従事者数は約200人ほどまで落ち込んでいます。

しかし、過去に培われた広葉樹大径材の製材をはじめ、家具、その他木製品製造等の木材加工業が小さいながらも現在まで継承されており、この活用・発展が急務です。

森林・林業の拠点施設「きとね」から全国へ



令和4年にオープンし、3年目を迎えた「きとね」。林業の拠点機能、情報発信機能、木育・研修機能、展示販売機能を兼ね備えた施設です。

「きとね」は、縦ログ構法、重ね梁を採用しており、木材の伐採及び木材の加工と利用を担う製材所や木工所、工務店など町内の事業体が連携して建設されました。使用している木材はすべて町産材。木のぬくもりあふれる「きとね」から、木の良さを伝える活動をしていきます。

寄付金は「木の町」蘇生に向けて活用します！

①広葉樹材利活用推進事業

「きとね」を中心に森林・林業・木材産業、そして木育を推進するため、木に親しみを持てる各種イベントを開催します。

②林産業雇用促進事業

「木の町」蘇生に向け林産業の未来を担う人材を確保するため、技術職員を新たに雇用する林業事業体を支援します。

③町産材利用住宅促進事業補助金

町産材利用促進のため、町産材を活用し、住宅を新築・増改築する場合（薪ストーブ設置も含む）に一部費用を補助します。

このほか、森林管理に向けた施業地集約や路網整備、素材の安定生産や流通体制強化への支援、新商品開発への支援、鳥獣害対策も踏まえた里山林整備の充実強化など、様々な取組を進めてまいります。企業の皆様、ご支援・ご協力をお願いいたします！

